



第19回 近畿大学中央図書館蔵書展

モノガタリの世界

KINKI UNIVERSITY CENTRAL LIBRARY



展示目録

開催日時：2012年11月7日(水)～13日(火)

10：30～19：00 日曜日は18：30まで

場所：近畿大学中央図書館 2階 第1演習室

*会期中、一部展示替えを行います。前期展示(7～10日) 後期展示(11～13日)

～特別展示～

勅撰和歌集 - 日本中世の古写本 -

紀友則ほか奉勅撰 『古今和歌集』 全20巻 [定家本]

最初の勅撰和歌集。構成は、以降の勅撰和歌集編纂の範となり、優美繊細で理知的な歌風は、物語、日記、俳諧など日本のあらゆるジャンルの文学に多大の影響を与えた。現在最も広く流布しているのは、藤原定家校訂本(定家本)系統の伝本で、なかでも特に知られているのが、貞応2(1223)年7月書写本(貞応本)と嘉禄2(1226)年4月書写本(嘉禄本)の2系統である。自筆本は、ともに定家から子の為家に相伝された。

[貞応本] 全20巻1冊 鎌倉後期頃書写

本書は、貞応2(1223)年書写本を、文永3(1266)年に為家が書写したことを記す奥書を持つ貞応本系統の書写本で、鎌倉時代後期の書写と推定される。巻頭に仮名序、巻末に真名序を配する貞応本は、為家から嫡流の二条家へ相伝されたこともあり、後世最も流布した。近世以後現在に至るまでの出版物の大半は、貞応本に拠っている。

[嘉禄本] 全20巻2冊 鎌倉後期頃書写

本書は、鎌倉時代後期の書写と推定される、嘉禄2(1226)年書写本系統の書写本である。嘉禄本には、定家の奥書の後に為家が子の冷泉為相へ伝授したことが記されている。また、真名序がなく、為家が仮名序に「あさかやま」の歌を書き加えているところに特色を持つ。本書は、「巻第1 春哥上」の第21首より第29首までが欠けているものの、貞応本と比べて伝流が極めて少ない嘉禄本が、20巻を備えて残っている点でも貴重である。古筆了仲による極書付き。

大中臣能宣ほか奉勅撰 『後撰和歌集』 全20巻1冊 応安2(1369)年 二条為遠書写

『古今和歌集』に次ぐ第2番目の勅撰和歌集。約1,420首20巻からなり、私的な贈答歌が多く歌物語的な傾向が見られるためか、後の勅撰和歌集よりも私家集に影響を与えた。奥書の書写年「應安二年」と「相公武衝大將軍藤」の書写者自署から、南北朝時代の歌人で『新後拾遺和歌集』(後円融天皇勅命)の撰者、二条為遠の書写本であることがわかる。本文中に為遠による校合の跡が見られ、さらに後人の手で異本との校合が書かれた薄様の雁皮紙小片が随所に貼られている。

日本近世の写本と刊本より

蕭統撰 李善[ほか]註 陳仁子校補 『六臣註文選』 全60巻30冊 目録1巻1冊 古活字版

寛永2(1625)年刊

中国の梁の時代(6世紀初め頃)に編纂された詞華集。紀元前5世紀頃から6世紀初めまでの詩文752篇を、全30巻に収めた。中国においても日本においても、学習されるべき重要な書物として重用された。『六臣註文選』は、唐の李善が注をつけ、30巻を60巻としたものに、その他の注者の注を加え、宋の陳仁子が校補したものである。本書目録には『増補六臣註文選』とある。本書は、中国で出版された漢籍を元に日本で出版された和刻本。

『あふ日乃上』 光悦謡本(上製本) 古活字版 慶長・元和(1596-1624)年間頃刊

『源氏物語』を原作とし、六条御息所をシテとする能楽で、現代に至るまで上演回数が多い人気曲。光悦謡本は、嵯峨本、角倉本とも呼ばれ、江戸時代初期の芸術家である本阿弥光悦、角倉素庵が関与したとされる古活字版の謡本である。

『伊勢物語』 嵯峨本(第一種本) 全2巻2冊 古活字版 慶長13(1608)年初刊

平安時代前半に成立した歌物語。『源氏物語』など後世の文学作品にも大きな影響を与え、数多くの写本、刊本がつけられた。嵯峨本『伊勢物語』は、『伊勢物語』最初の絵入り版本としても名高い。本書は、木活字を使用した平仮名交じりの古活字版で、刊行年がわかる貴重な版本として知られる。2から4文字の連彫活字を交えた版面構成は力強く、典雅な趣をたたえている。

『伊勢物語』 奈良絵本 全2巻2冊 江戸前期頃写

『伊勢物語』は、歌物語として重用されたことから、写本の形で読まれ、そこに手書きの絵を加えたいわゆる絵巻や絵入り本が古くからつくられた。奈良絵本『伊勢物語』は、嵯峨本『伊勢物語』の挿絵を真似たものが数多く作成されたといわれている。本書も、挿絵の構図が大変よく似ていることから、嵯峨本の影響を強く受けたものと思われる。

『鶴亀松竹物語』 奈良絵本 2軸 卷子本 寛文(1661-74)年間頃書写

* 『さざれ石』 前期展示 『松竹物語』 後期展

示

『松竹物語』は、祝儀物として『鶴亀物語』と一組で写されることが多いが、本書は『さざれ石』との組み合わせで、いずれも不老長寿を扱った御伽草子の中の物語である。極彩色の美しい奈良絵本は、御伽草子の代表的な本の形態として知られている。

『ふんしやう』 奈良絵本 全3巻3冊 江戸前期頃書写

本書は、御伽草子の代表作『文正草子』を奈良絵本に仕立てたものである。致富と出世と長寿という「めでたづくめ」の物語として、江戸時代には正月の読み初めに用いられた。各巻末には「月明荘」の押印があり、書誌学者でもあった古書肆弘文荘の反町茂雄氏によって扱われた来歴を持つことがわかる。

浅井了意 『東海道名所記』 全6巻6冊 [出版地・出版年不明]

万治4(1661)年頃に書かれた仮名草子のひとつである。名所図会とは異なり、道中案内を兼ねた面白く楽しい読物として書かれている。浅井了意は、仮名草子の代表的な作者。ほかに、滑稽物『浮世物語』、怪奇物『御伽婢子(おとぎぼうこ)』などを著わした。

『狭衣』 全16冊 [出版地不明] 承応3(1654)年刊

承暦(1077-81)年間頃に成立した物語。『源氏物語』をモチーフにしている。修辞、造形美にすぐれ、中世文学の諸分野への影響も大きい。本書は、『狭衣』4巻10冊、『狭衣目録並年序』1冊、『狭衣系図』1冊、『狭衣下紐』4巻4冊から成る。『狭衣下紐』は数少ない注釈書の最初のもので、連歌師の里村紹巴により天正18(1590)年に成立した。

『大坂物語』 全2巻2冊 [出版地・出版年不明]

軍記物の絵入り仮名草子として流布した。当初は関ヶ原の戦、冬の陣の直後に、完結したものとして出版され、更にその後、夏の陣において大坂城が落城すると、その戦況を書き加えて、冬の陣までを上巻とし、夏の陣以降を下巻として出版された。速報を目的としたニュース的出版物としては最初のもので、評判になったようである。本書は、頸帳を加えている。

井原西鶴『好色一代女』 全6巻6冊 大坂 貞享3(1686)年

『好色一代男』(天和2(1682)年)に対抗する女性の好色一代記で、江戸時代の代表的な作。挿絵は浮世絵師の吉田半兵衛が描いている。上昇し続けた「一代男」の好色生活と違い、「一代女」が宮仕えから街娼にまで身を落とす様を描いている。西鶴は大坂の町人であったが、家業を捨てて談林派の俳諧師となり、『好色一代男』を著わし、新仮名草子ともいえる浮世草子の創始者となった。

日本近代作家の直筆

室生犀星「芙蕖」自筆原稿 昭和23(1948)年

室生犀星の短編小説「芙蕖(ぐみ)」の自筆原稿。犀星の全集、著作集にも未収録の作品であり、その執筆時期、掲載誌も謎であった。当館での調査の結果、平成19(2007)年に、京都日日新聞社刊行の雑誌『愛』第1巻第2号昭和23(1948)年7月号に掲載されたことが判明。掲載誌には、洋画家の川端弥之助による挿絵があった。

太宰治 山岸外史宛葉書 83葉 昭和9(1934)–18(1943)年

詩人としても檀一雄をはじめ多くの文人と交流があった世耕政隆近畿大学第二代総長・理事長秘蔵のコレクションで、世耕家から本学へ寄託されているものである。山岸外史は、昭和時代の文芸評論家。現存する太宰の書簡において最も多い宛先は、山岸外史宛である。その内容は、『太宰治はがき抄：山岸外史にあてて』(近畿大学日本文化研究所編)にまとめられ、同書は、近畿大学学術情報リポジトリで公開されている。

外国人が著した日本の物語

ロチ『お菊さん』 パリ 1888年

ロチは筆名で、本名はルイ・マリイ・ジュリアン・ビオー。フランスの軍人、小説家。『お菊さん』は、明治18(1885)年にロチが長崎に一夏滞在し、「おかねさん」という日本女性と暮らした時のことを題材にした作品。1887年12月から『フィガロ』紙に連載され、その後単行本として刊行された。19世紀後半から20世紀初期のヨーロッパにおけるジャポニスム流行の中でオペラ化されるなど、日本を題材にした作品の先駆となった。

Loti, Pierre. Madame Chrysanthème. Figaro ed. Paris: Calmann-Lévy, 1888.

小泉八雲『骨董』 ロンドン 1902年

ラフカディオ・ハーンは、ギリシアで生まれ、アメリカでジャーナリストとして活躍した後、明治23(1890)年来日。明治29(1896)年日本に帰化し、名を小泉八雲と改めた。『骨董』は、「茶碗の中」、「忠五郎のはなし」など「古い物語」と題された9編の怪異譚の再話物語と、その他のエッセイの2部構成になっている。抑制された描写は、『怪談』と並び称せられ、八雲文学の最後の変化と完成を示す作品集である。

Hearn, Lafcadio. Kottō : being Japanese curios, with sundry cobwebs. London: Macmillan, 1902.

小泉八雲『怪談』 ロンドン 1904年

『怪談』は、小泉八雲の代名詞ともいえる作品で全20編からなる。「耳なし芳一のはなし」、「ろくろ首」、「雪おんな」など、怪談・奇談の14編の再話物語と、3編のエッセイ、八雲が強く興味を持ち、たびたび題材として取り上げた昆虫についての短編「蝶」、「蚊」、「蟻」という3編の「虫の研究」が収録されている。

Hearn, Lafcadio. Kwaidan : stories and studies of strange things. London: Kegan Paul, Trench, Trubner, 1904.

チェンバレン『英訳古事記』第2版 神戸 1932年

チェンバレンは、イギリス生まれ。明治6(1873)年来日し、教師のかたわら日本研究に励み、後に東京帝国大学で日本語学と言語学を教えた。『英訳古事記』は、『日本アジア協会紀要』の附録として明治16(1883)年に出版された。本書は、昭和7(1932)年刊行の第2版で、日本学者アストンによる補注が載せられている。

Chamberlain, Basil Hall. Translation of "Ko-ji-ki" (古事記), or: "Records of ancient matters". 2nd ed. Kobe: J.L. Thompson, 1932.

15世紀から17世紀のヨーロッパの刊本より

ダンテ『饗宴』 インキュナブラ フィレンツェ 1490年

ダンテ・アリギエーリは、イタリア最大の詩人。彼の『神曲』は、キリスト教精神の理想を高く掲げた不滅の古典とされている。『饗宴』は、『神曲』の執筆前、苦しい後半生の1304-07年頃に執筆されたと推定される。ラテン語で書かれた『神曲』に対して、『饗宴』はイタリア俗語で書かれており、構想では15篇であったが4篇のみで未完に終わった。

Dante, Alighieri. Convivio di Dante Alighieri fiorentino. Firenze: Francesco bonaccorsi, 1490.

オウィディウス『変身物語』 ヴェネチア 1516年

オウィディウスは、古代ローマの詩人。『変身物語』は、ギリシア・ローマ神話から「変身」をモチーフにした250もの物語を集めた1万2千行からなる全15巻の長編叙事詩。文学史上だけでなく、ラファエロ、ルーベンスなどの画家が競って画題としたことから、美術史上にも多大な影響を与えた。本書は、ルネサンス時代のイタリアを代表するアルド印刷所の出版物である。

Ovidius Naso, Publius. Quae hoc volumine continentur. Annotationes in omnia Ouidij opera. Index fabularum, & caeterorum, quae insunt hoc libro secundum ordinem alphabeti. Ouidii Metamorphoseon libri XV. Venetiis: In aedibus Aldi et Andreae soceri, 1516.

シェイクスピア『喜劇、史劇、そして悲劇』 フォース・フォリオ ロンドン 1685年

ウィリアム・シェイクスピアは、イギリスの詩人であり、劇作家。1623年から1685年にかけて、シェイクスピアの作品集が、フォリオ(二つ折)本と呼ばれる大型本として出版された。フォリオ本は、主として神学や法律学などの学問的文献に用いられるもので、戯曲集がフォリオ本として出版されたのは、当時はたいへん画期的であった。本書は、フォース・フォリオで、その後のシェイクスピア全集の底本として用いられた意義の大きい本といわれている。

Shakespeare, William. Mr. William Shakespeare's comedies, histories, and tragedies, published according to the true original copies, unto which is added, seven plays, never before printed in folio: the fourth edition. London: H. Herringman, E. Brewster et al., 1685.

19世紀ヨーロッパの刊本より

ビューイック編 木版挿絵『イソップ他寓話集』 ニューカッスル 1818年

イソップの寓話と、その後の改作者たちの寓話を、イギリスの木版画家トーマス・ビューイックが編纂し、木版の挿絵を入れた作品。ビューイックは金属彫版と木版の技術を磨き、版木に彫り込んだ線(木版では白線となって現れる)を生かす「白線法」(木口白線木版画)手法を改良し、木版でも細かい表現ができる方法を編み出した。

Bewick, Thomas. The fables of Aesop, and others. Newcastle: Printed by E. Walter, for T. Bewick and Son. Sold by them, Longman and Co. London, and all booksellers, 1818.

アンデルセン『木の精ドリアーデ』 コペンハーゲン 1868年

アンデルセンは、デンマークの文学者。『木の精ドリアーデ』は、アンデルセンが1867年にパリで開催された世界大博覧会を見て、その素晴らしさ、荘厳さに心を奪われ、完成させた作品。まだ見ぬ世界に憧れていた木の精ドリアーデが、博覧会に植えられたマロニエの木の精となってさまよい、やがて消えていくという筋立ての中に、博覧会場の綿密な描写と、批判、虚脱感などを描いている。本書には、アンデルセン直筆の献呈辞がある。

Andersen, H. C. Dryaden: et Eventyr fra Udstillingstiden i Paris 1867. Kjøbenhavn: T. A. Reitzels, 1868.

イプセン『人形の家』 コペンハーゲン 1879年

ノルウェーの劇作家イプセンの3幕劇。主人公ノーラの新しい女への目覚めを描いた本書は、女性解放劇として世の論争を巻き起こした。演技術の基礎を築いたといわれる作品となり、イプセンの創作の転期となった。

マラルメ訳 『エドガー・ポー詩集』 ブラッセル 1888年

19世紀フランス象徴派の代表的詩人であるマラルメが、「わが偉大なる師」として尊敬していたポーの詩集をフランス語訳したもの。画家のマネによって、鴉の挿絵とポーの肖像が描かれている。本書は、中扉の上部余白に友人に宛てたマラルメ直筆の献辞が書かれている。

Poe, Edgar Allan. Mallarmé, Stéphane. Les poemes d'Edgar Poe. Bruxells: Edmond Deman, 1888.

ワイルド 『サロメ』 パリ・ロンドン 1893年

オスカー・ワイルドは、イギリスの詩人、小説家、劇作家。『サロメ』は、フランス語で書かれパリで発表された1幕物の悲劇。1894年、友人のアルフレッド・ダグラス卿による英訳、ワイルド自身による修正と、ピアズリーの挿絵付きで英語版が出版され、大きな反響を呼んだ。

Wilde, Oscar. Salomé : drame en un acte. Paris: Librairie de l'art Indépendant; Londres: Eokin mathews et John Lane, 1893.

19世紀児童文学の名作を生んだトウェインとキップリング

トウェイン 『金めつき時代』 ハートフォード 1873年

*前期展示

マーク・トウェインが隣人で親交があった『イブニング・プレス』紙の編集副主任チャールズ・ダドレー・ウォーナーと合作で出版した小説。投機と名声獲得に必死になっていた南北戦争後のアメリカ社会の様子をよく表した小説であったため、「金めつき時代」という題名がそのまま19世紀後半のアメリカを指す呼び名となった。

Twain, Mark. Warner, Charles Dudley. The gilded age : a tale of to-day. Hartford: American Publishing Co., 1873.

トウェイン 『王子と乞食』 ボストン 1882年

16世紀のイングランドに舞台を設定したトウェイン初の歴史小説であり、トウェインの娘スージーとクララに捧げられた児童文学作品である。瓜ふたつの姿をしたロンドンの乞食トムと英国王子エドワードが、入れかわり、それぞれが正反対の境遇で生きる様を描いた冒険物語。トウェインは、この作品を通して、子どもの目線で当時のイングランドの世情を痛烈に皮肉った。

Twain, Mark. The prince and the pauper : a tale for young people of all ages. First American ed. Boston: James R. Osgood and Company, 1882.

トウェイン 『ミシシッピー川の生活』 ボストン 1883年

*後期展示

トウェインの自伝的作品。1875年に『アトランティック・マンスリー』誌に発表した“Old Times on the Mississippi”に加筆し、出版したもの。この作品の後半部を加筆するために、ミシシッピー川を訪れ、なつかしい少年時代を思い出したことが、中断していた『ハックルベリー・フィンの冒険』の執筆を再開させたといわれている。

Twain, Mark. Life on the Mississippi. Boston: James R. Osgood and Company, 1883.

トウェイン 『ハックルベリー・フィンの冒険』 ロンドン 1884年 / ニューヨーク 1885年

イギリスで出版された初版本と、翌年、アメリカで出版された初版本。トウェインの円熟期の作品であり、代表作である。『トム・ソーヤの冒険』の脇役だった浮浪児ハックを主人公に、1876年から途中何度か中断しながら書き上げられたものである。

Twain, Mark. The adventures of Huckleberry Finn (Tom Sawyer's comrade).

First English ed. London: Chatto & Windus, Piccadilly, 1884. First American ed. New York: Charles L. Webster and Co., 1885.

トウェイン 『トム・ソーヤの探検』 ロンドン 1894年

『トム・ソーヤの冒険』、『ハックルベリー・フィンの冒険』の2作品の続編として出版された中篇小説。主人公のトムとハックとジムが、天才博士の発明した気球に乗って、アメリカを離れ、イギリスを目指したが、アフリカへ流され、サハラ砂漠を横断し、エジプトやアラビアでさまざまな体験をするファンタジー小説である。

Twain, Mark. Tom Sawyer abroad. First English ed. London: Chatto & Windus, Piccadilly, 1894.

キップリング『ジャングルブック』 ロンドン 1894年

キップリングは、イギリスの小説家、詩人。本書は、彼の代表作の短編小説集。7つの短編からなり、第4話を除き、いずれも熱帯のジャングルの動物達を主人公とした物語で、著者のインド生活から取材したものである。このインド時代に世界旅行をしており、ニューヨーク州では、マーク・トウェインに会っている。翌年には、続編が出版された。

Kipling, Rudyard. The jungle book. London: Macmillan & Co., 1894.

ヴィクトリア朝期イギリスの代表的作家ディケンズとサッカレー

ディケンズ『ボズのスケッチ集』 第2版 3冊 ロンドン 1836-1837年

チャールズ・ディケンズの処女作品集。「ボズ」とは、当時の著者の筆名で、著者が弟につけたニックネームに由来する。ロンドンを舞台とし、著者自身が見聞した町の出来事をスケッチ風に描いたこの短編集が出版されたことにより、小説家として注目されることとなった。挿絵は当時の人気画家ジョージ・クルックシャンク。1836年2月に第1集(2冊)、1836年12月に第2集(1冊)の初版が刊行された。本書は、1836年8月、1837年に刊行された第2版。

Dickens, Charles. Sketches by Boz : illustrative of every-day life, and every-day people. vol.1-2, Second series. 2nd ed. London: John Macrone, 1836-1837.

ディケンズ『オリバー・ツイスト』 全3巻 ロンドン 1838年

救貧院で生まれた孤児オリバーを描いた長編小説。オリバーの成長とともに、新救貧法や救貧院の劣悪な惨状を告発している。月刊誌『ベントリーズ・ミセラニー』に、1837年2月から1839年4月まで連載され、連載終了前の1838年11月に3巻本の単行本が刊行された。単行本初版3刷以降、筆名「ボズ」ではなく、本名「チャールズ・ディケンズ」を使用するようになった。本書の挿絵は、『ボズのスケッチ集』と同じく、クルックシャンクによる。

Dickens, Charles. Oliver Twist : or, the parish boy's progress. vol.1-3. London: Richard Bentley, 1838.

ディケンズ『二都物語』 ロンドン 1859年

一人の女性を愛した亡命貴族と弁護士が命をかけて生きる姿を描いた歴史小説。題名の「二都」とはロンドンとパリのことで、カーライルの『フランス革命史』に影響を受け執筆された。1859年4月30日から11月26日まで週刊誌『オール・ザ・イヤー・ラウンド』に連載され、連載中の同年6月から月刊分冊で、12月に単行本で刊行された。月刊分冊と単行本には、ディケンズの多くの作品を担当したハブロー・ブラウン(通称フィズ)の挿絵が載せられている。

Dickens, Charles. A tale of two cities. London: Chapman and Hall, 1859.

ディケンズ『エドウィン・ドルードの謎』 6巻 ロンドン 1870年

ディケンズの遺作となった小説。1870年4月から月刊分冊で刊行された。12号で完結する予定であったが、1870年6月、ディケンズが6号を執筆中に他界したため未完である。探偵小説的要素の強いこの作品の結末について、ディケンズが書き残したものはなく、その謎について多くの小説や論文が書かれている。

Dickens, Charles. The mystery of Edwin Drood. No.1-6. London: Chapman & Hall, 1870.

サッカレー『虚栄の市』 ロンドン 1848年

サッカレーは、ディケンズと並び称せられる19世紀イギリス文学を代表する小説家。ディケンズが貧しく弱い立場の人々に光を当て描いたのに対し、サッカレーは上中流の人々を風刺的に描いた。貧しい家庭に生まれたレベッカが上流社会にのし上がっていく様子を皮肉的に描いた『虚栄の市』は、1847年1月から翌48年7月まで月刊分冊で刊行され、完結後直ぐに単行本として刊行された。挿絵は、画家を志していたサッカレー自身の手による。

Thackeray, William Makepeace. Vanity fair : a novel without a hero. London: Bradbury & Evans 1848.

美しい本づくりにこだわったプライベートプレスの本

F.S.エリス編纂『チョーサー著作集』 一葉 ハマスミス 1896年

『チョーサー著作集』(限定425部)のなかの『薔薇物語』からの一葉。ウィリアム・モリスは、ケルムスコット・プレス1891年設立当初から『チョーサー著作集』の刊行を計画していた。ケルムスコット・プレス刊本の中でも最高傑作といわれ、世界で最も美しい本と称されている。

Ellis, F. S. (ed.). *A leaf from 'The Works of Geoffrey Chaucer'*. Hammersmith: Kelmscott Press, 1896.

マロリー『アーサー王の死』 チェルシー 1913年

アーサー王の誕生から死まで、その生涯を語った作品。アーサー王は6世紀頃実在したケルトの武将。ケルトの王国再興の夢を託す英雄として伝説化され、アーサー王伝説として中世ヨーロッパ全土で親しまれた。本書は、147部限定のアシェンデンプレス刊。

Malory, Thomas, *Sir. Le Morte d'Arthur*. Chelsea [London]: The Ashendene Press, 1913.

ダンテ『神曲:煉獄篇』 チェルシー 1904年 / 『神曲:天国篇』 チェルシー 1905年

ダンテ・アリギエーリは、イタリアの詩人、政治家。代表作『神曲』は、『地獄篇』、『煉獄篇』、『天国篇』の3部からなる長編叙事詩。ダンテ自身が死後の世界である地獄、煉獄、天国をそれぞれ案内役に導かれ巡るという内容で、イタリア文学最大の古典とされる。本書は、アシェンデンプレス刊で、20部のみ制作されたヴェラム(羊皮紙)刷り。

Dante Alighieri. *Lo purgatorio di Dante Alighieri Fiorentino*. Chelsea [London]: Nella stamperia di Ashendene, 1904.

Dante Alighieri. *Lo paradiso di Dante Alighieri*. Chelsea [London]: Nella stamperia di Ashendene, 1905.

ワーズワース『不滅頌』 ロンドン・ニューヨーク 1903年

イギリスロマン派、桂冠詩人ウィリアム・ワーズワースの代表的抒情詩。本書は、エセックス・ハウス・プレスの「名詩シリーズ」14篇の1篇で、魅力あふれる手採色の小冊子としても知られる。150部限定のヴェラム刷り。

Wordsworth, William. *Intimations of immortality from recollections of early childhood*. [London: Edward Arnold; New York: Samuel Buckley & Co., 1903]. *Camden: printed at the Essex House Press, 1903*

20世紀初頭イギリス挿絵黄金時代のギフトブック

ラッカム画 バリー『ケンジントン公園のピーター・パン』 ロンドン 1906年

本書は、スコットランド生まれの小説家、劇作家のジェイムズ・バリーが1902年に発表した『小さな白い鳥』という私小説の中から、ピーター・パンのエピソードを独立させ1冊にまとめたもの。1906年12月に出版されると爆発的な人気を得て、この年最大のギフトブックになった。挿絵は、20世紀初頭を代表する挿絵画家アーサー・ラッカム。

Rackham, Arthur (illust.). *Barrie J. M. Peter Pan in Kensington Gardens*. London: Hodder & Stoughton, 1906.

ラッカム画 キャロル『不思議の国のアリス』 ロンドン・ニューヨーク 1907年

『不思議の国のアリス』は、イギリスの作家チャールズ・ラトウィッジ・ドジソンが、ルイス・キャロルの筆名で1865年に出版した児童文学書。ジョン・テニエルが挿絵を担当した。1907年に『不思議の国のアリス』の著作権が切れると、7人も挿絵画家がアリスの挿絵本を続々と出版したが、最も評判が高かったのがアーサー・ラッカムの作品であった。

Rackham, Arthur (illust.). *Carroll, Lewis. Alice's adventures in Wonderland*. London: William Heinemann; New York: Doubleday, Page, 1907.

ラッカム画 シェイクスピア『真夏の夜の夢』 ロンドン・ニューヨーク 1908年

*前期展示

アーサー・ラッカムがシェイクスピアを題材にして描いた妖精画集。幻想的で美しいカラー挿絵は、ラッカムの作品のなかでも傑作といわれている。彼の描いた妖精たちは「ラッカメア・フェアリー」と呼ばれ、人気を博した。

Rackham, Arthur (illust.). *Shakespeare, William. A midsummer night's dream*. London: William Heinemann; New York: Doubleday, Page, 1908.

ラッカム画 ポー『怪奇と幻想の物語』 ロンドン 1935年

*後期展示

『怪奇と幻想の物語』は、アメリカの文豪エドガー・アラン・ポーの11作品を収録した1908年初版の作品集。1919年には、アイルランドの挿絵画家でアーツ・アンド・クラフツ運動に関わったハリー・クラークによる挿絵本が出版されている。本書は、1935年に出版されたアーサー・ラッカムの挿絵本。

Rackham, Arthur (illust.). *Poe, Edgar Allan. Tales of mystery and imagination*. London: George G. Harrap, 1935.

デュラック画 キラー=クーチ再話『眠り姫、その他の物語』 ロンドン 1910年

イギリスの再話(リトール)の名手アーサー・キラー=クーチ卿が選んだフランスの4つのおとぎ話集。『眠り姫』のほか、『青髭』、『シンデレラ』、『美女と野獣』を収録。挿絵は、イギリスで活躍したフランス出身の挿絵画家エドモンド・デュラックが担当。「線のラッカム、色のデュラック」と並び称されるほど、ラッカムと人気を二分する存在であった。

Dulac, Edmund (illust.). *Quiller-Couch, Arthur, Sir (retold). The sleeping beauty and other fairy tales from the old French*. London: Hodder & Stoughton, 1910.

キストナーコレクション

レッシング『賢者ナータン』[出版地不明] 1779年

レッシングは、ドイツの劇作家、評論家で、ドイツ啓蒙思想の代表的存在。彼の活動は、ゲーテやシラー、カントなど当時のドイツ文学・思想に多大な影響を与えた。1779年に発表された最晩年の作品『賢者ナータン』は、三つの指輪のたとえ話で宗教的寛容を説く劇詩で、レッシング没後の1783年にベルリンで初演された。

Lessing, Gotthold Ephraim. Nathan der Weise : ein dramatisches Gedicht, in fünf Aufzügen. [S.l.]: [s.n.], [1779].

シラー『群盗 圧制に抗して』[出版地不明] 1781年

シラーは、ゲーテと並ぶ18世紀後半のドイツ古典主義文学の代表的作家。1781年に匿名で発表された本書は、著者の処女作であり代表作と評される。権力に反抗する青年の自由への願望と正義心を現したこの戯曲は、翌年、初演されると、シュトゥルム・ウント・ドランク時代の当時のドイツの若者たちに熱狂的に支持され大成功をおさめた。

Schiller, Friedrich. Die Räuber : ein Schauspiel. [S.l.]: [s.n.], [1781].

ゲーテ『ファウスト 悲劇第一部』シュトゥットガルト 1816年

ゲーテはドイツの詩人、小説家、劇作家。『ファウスト』は、純粋な認識と無限の可能性を求めて悪魔に魂を売ったファウストの挫折と救済を描いた長編の戯曲。二部構成で、第一部は1808年、第二部はゲーテ没後の1832年に発表された。本書は、初版と同じコッタ社から1816年に出版されたもの。

Goethe, Johann Wolfgang von. Faust : eine Tragödie. Stuttgart und Tübingen: Cotta'schen Buchhandlung, 1816.

シャミツソー『影をなくした男』ニュルンベルク 1839年

シャミツソーは、フランス出身のドイツの詩人、植物学者。『影をなくした男』は、1814年に出版された中編小説。幸運の金袋と引き換えに自分の影を失った男の運命を描くメルヘン風の物語で、ロマン主義文学の代表的な作品のひとつである。本書は、シャミツソーの死後、友人ヒッチヒによって1839年に再び発表されたもの。

Chamisso, Adelbert von. Hitzig, Julius Eduard. Peter Schlemihl's wundersame Geschichte. Nürnberg: J. L. Schrag, [1839].

フライリヒラート訳 シェイクスピア『ヴィーナスとアドーニス』デュッセルドルフ 1849年

『ヴィーナスとアドーニス』は、ウィリアム・シェイクスピアの長編詩。ストーリーは、オウィディウスの『変身物語』第10巻に由来する。本書は、ドイツの詩人フライリヒラートがドイツ語訳し、1849年に刊行したもの。フライリヒラートは、イギリス・アメリカ・フランス文学の優れた翻訳家であった。

Shakespeare, William. Freiligrath, Ferdinand. Venus und Adonis. Düsseldorf: W. H. Scheller, 1849.

和刻本にみる中国の話（廊下展示）

陳寿撰述 裴松之集注 陳仁錫評閲『三國志』全65巻40冊 京都 寛文10(1670)年刊

中国(西晋)の陳寿による正史『三国志』をもとに、長編歴史小説『三国志演義』が作られ、日本でも現在に至るまで多くの人々に愛される物語となっている。本書は、和刻本『三国志』。明の陳仁錫評閲本を底本としており、万暦24(1596)年の「叙重刻三国志」と「重刻三国志小序」が付されている。

岡島冠山編訳 [拾遺 丟曳道人訳]『通俗忠義水滸傳』全44巻60冊 拾遺全20巻20冊

江戸 大坂 京都 江戸時代後期刊

『通俗忠義水滸傳』は、岡島冠山編訳となっているが、近年の研究において疑問視されており、諸説が出されている。また、拾遺の訳者とされる丟曳道人についても素性不詳の人物で、明らかになっていない。しかし、その刊行によって日本に『水滸伝』の存在を知らしめた重要な作品である。江戸文学の作家に与えた影響は極めて大きい。

曾先之編次 陳殷音釋 王逢點校 巖垣龍溪校訂標記 巖垣東園再校増補

『立齋先生標題解注音釋十八史畧』4刻 全7巻3冊 京都 大坂 江戸 元治元(1864)年刊

『十八史略』は、元の曾先之による、『史記』から『新五代史』までの十七の正史に『宋史』を加えた十八史を初学者向けに要約し、編年体に編纂された中国の通史。日本には室町時代中期に伝来し、江戸時代以降は明の陳殷

が注釈し、王逢が点校した7巻本が、初学者向けの中国歴史読本として流行した。本書は、7巻本系統の和刻本。